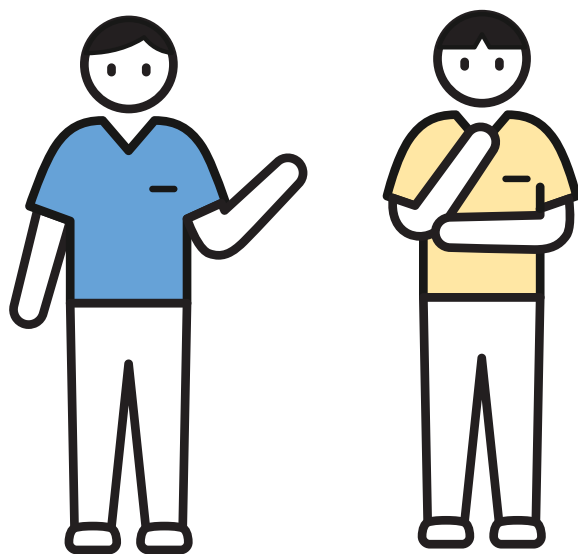


看護師養成所2年課程(通信制) 教員研修ツール使用ガイド



【目次】

はじめに	2
I. 看護師養成所2年課程(通信制)教員研修ツールの構成と内容	3
1. 研修用動画	3
2. 資料(手引き・ガイド)	5
II. 教員研修ツールの活用例	6

はじめに

本ガイドは、令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 厚生労働科学特別研究事業「看護師養成所2年課程(通信制)の入学要件見直しにかかる調査研究(23CA2003)」(研究代表者 奥裕美)の一環として作成した、教員研修ツールの活用方法を案内するものです。

看護師養成所2年課程(通信制)(以下、2年課程(通信制))は、准看護師としての一定の就業経験があることを根拠に、実践の科学である看護を「通信制」で教授する教育機関です。対面での教育を主とする看護基礎教育の中ではその数も少なく、通信制で看護を教えるための技術や知識についての資料を見つけることが難しい現状です。

そのような中、2年課程(通信制)に入学する学生の准看護師としての就業経験年数の短縮が検討され、どのようにすれば効果的に学習を支援できるのか、臨地実習(紙上事例演習、見学実習、面接授業)の機会をどのように有効に活用できるのかに、不安や困難を感じている教員が多いことがわかっています。また、そうした教員の教育活動を支援する、研修等の機会も十分には得られていないこともわかっています¹⁾。

そこで、通信制で看護を教えるという特別な教育機関である2年課程(通信制)の教員を対象に、教育活動の質の維持と向上につながる研修ツールを開発しました。開発の過程では、全国通信制看護学校協議会の全面的な協力を得て、ニーズ調査や現状での教授活動の好事例(Good Practice)の収集をしました。出来上がった研修ツールの内容は、それらの結果を反映しています。なお、好事例については、教育機関によって理念やカリキュラムが異なること、COVID-19の影響のあった約2年間の教育実践は、そうではない時の状況には適用しにくいといったことから、収集した事例からの抽出は困難であると判断し、新たに教材を開発することにしました。

こうした方針転換の判断、そして研修ツールの作成にあたっては、コアメンバーである3名の経験豊富な教員のほか、多くの2年課程(通信制)の教員のみなさまにご協力いただきました。各教育機関が、自分たちで内容を自由に修正、変更することを前提に、アレンジ可能な状態で資料を提供するという工夫も加えることにしました。2年課程(通信制)の教育を誰よりもよく知る第一線の教員が検討を重ね、蓄積する経験と教育実践知を結集した研修ツールが出来上がりました。

ただし、これで「完成」ではありません。まずは、これらのツールを活用し教員自身が研鑽すること、そしてそれを学生への教育に活かすことが必要です。また、これからも看護を取り巻く状況は日々変わり続けます。変化に敏感に対応し、時機に応じたツールのバージョンアップも必要です。2年課程(通信制)の教員がネットワークを築き、貴重な教育実践知を共有する機会も有効だと考えます。さらに、そうして収集した教育実践知は、通信制以外の看護基礎教育機関にも積極的に発信して欲しいと考えています。情報通信技術の発達によって、対面を基本とする教育機関においても、通信制教育の要素を多く取り入れるようになっています。これからの発展の足掛かりとして、この研修ツールと、開発過程での経験が活かされることを願います。

2024(令和6)年3月
聖路加国際大学 奥裕美

1) 奥裕美(2022)、令和2-3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 地域医療基盤推進事業「看護師学校養成所2年課程(通信制)の入学要件等の見直しによる影響の評価」総合研究報告書

I. 看護師養成所2年課程(通信制)教員研修ツールの構成と内容

今回作成した教員研修ツールには、動画が6本、資料(手引き・ガイド)が2種類あります。

1. 研修用動画

研修用動画は6本あります。テーマと概要は下記の通りです。

1	通信教育概論 — 2年課程に活かす教育の方法 — 石原朗子(星槎大学) 通信教育の特徴と通信教育の工夫	31分
2	看護師養成所2年課程(通信制)における教育 — その変遷と教育の目的 — 金川治美(神戸常盤大学短期大学部看護学科通信制課程) 看護師・准看護師の養成制度、2年課程(通信制)教育の設立の経緯、現状の課題	38分
3	大人の経験を活かす教育とは 小山田恭子(聖路加国際大学大学院) 成人の発達、経験学習とリフレクション、大人の経験を活かす教育	32分
4	学生の学習レディネスの理解 — 准看護師教育課程の学習内容から — 濱田百合子(桶川北本伊奈地区医師会立准看護学校) 准看護師教育課程の教育と参入する学生の特徴	21分
5	実習の学習効果を高める記録用紙(ワークシート)の活用について 学生の経験学習を効果的に支援する記録用紙を提案	39分
6	看護師養成所2年課程(通信制)における「病院見学実習」について 看護師養成所2年課程の概要と、指導においてお願いしたいこと(実習指導者向け)	10分

※講師所属は講師依頼時点

1) 通信教育概論 — 2年課程に活かす教育の方法 —

情報通信技術の発達や社会の変化に伴い、通信教育の市場は拡大しています。またCOVID-19感染拡大以降、いわゆる通学制の教育機関でもオンライン等を活用した通信教育の要素が積極的にとり入れられるようになりました。

ここでは、高校や大学など看護の領域に限らず行われている通信教育の特徴と、その特徴を踏まえた工夫について解説しています。

想定する対象者	全教員、職員
提供するデータ	動画、動画スライドのPDF

2) 看護師養成所2年課程(通信制)における教育 — その変遷と教育の目的 —

看護師養成所2年課程(通信制)の誕生から約20年が経ち、設立当初から教育に携わってきた教員の多くが現場を退きつつあるいま、2年課程(通信制)がどのような歴史的な経緯で生まれ、現在に至るのかをわかりやすく整理した資料はこれまでにありませんでした。2年課程(通信制)の教育に携わる教職員だけでなく、本来は看護基礎教育に関わる全ての教員、看護職に知ってもらいたい内容です。

想定する対象者	全教員、特に2年課程(通信制)の教員に初めて携わる教員、職員
提供するデータ	動画、動画スライドのPDF

3) 大人の経験を活かす教育とは

2年課程(通信制)の教育は、学生の准看護師としての就業経験を基盤として、看護師になるための学習を支援するものです。そこで重要になるのが、経験の省察(リフレクション)です。

学生が自らの経験を振り返り学びにすること、そのプロセスを支援する教育について解説します。

想定する対象者	全教員
提供するデータ	動画、動画スライドのPDF

4) 学生の学習レディネスの理解 — 准看護師教育課程の学習内容から —

学習者の支援を行う上では、学習者の学習レディネスを知ることが重要です。

ここでは2年課程(通信制)に通う学生がうけてきた准看護師教育課程での教育と、学生たちの特徴について解説します。

想定する対象者	全教員
提供するデータ	動画、動画スライドのPDF

5) 実習の学習効果を高める記録用紙(ワークシート)の活用について

資料(手引き・ガイド)「2 実習の学習効果を高める記録用紙・ワークシート使用ガイド」と連動しています。先にガイドをご一読いただき、実際の記録用紙の例を見ながら視聴していただくとわかりやすいと思います。

2年課程(通信制)における臨地実習での学生の学びを効果的に支援することを目的に、3種類の記録用紙・ワークシートを作成し、それを活用した臨地実習科目の実施方法を考案しました。学生自身が経験を省察することを通して、学習を積み重ねることができるよう、紙上事例演習・見学実習・面接授業の連続性を意識しています。

想定する対象者	全教員
提供するデータ	動画、動画スライドのPDF 併用資料「2 実習の学習効果を高める記録用紙・ワークシート使用ガイド」

6) 看護師養成所2年課程(通信制)における「病院見学実習」について

見学実習を行う病院等の指導者向けに、2年課程(通信制)の学生の特徴と実習方法について確認するとともに、なぜその看護を実施したのか、どのような推論をしたのか、など頭の中で考えていることを発話(思考発話)して学生に伝えて欲しいということを、事例を使って説明しています。

見学実習先の病院等の看護部教育担当者、直接実習を指導する看護師が視聴しやすいよう、10分間にまとめています。動画の視聴が難しい場合は、スライドデータもあります。教育機関、実習先の状況に合わせて自由に修正、加工などして使ってください。

想定する対象者	見学実習を受け入れる病院等の看護部長、教育担当者、直接学生を指導する看護師、全教員
提供するデータ	動画、動画スライドのPDF

2. 資料（手引き・ガイド）

資料は、「添削指導の手引き」と「実習の学習効果を高める記録用紙・ワークシート使用ガイド」の2種類です。

1	添削指導の手引き
2	実習の学習効果を高める記録用紙・ワークシート使用ガイド

1) 添削指導の手引き

「添削」は、通信制の教育においてとても重要な学習支援方法の一つであるとともに、学生と教員の貴重なコミュニケーション手段です。しかし、文字による学習支援の方法や、効果的なコミュニケーションの方法について、実はあまり学習する機会がないままその役割を引き受けていることが多いと思います。また、2年課程（通信制）では、専任教員だけでなく多くの添削指導者が協働して、添削を行っています。

そこで、学生の努力を認め、理解できない点を理解できるように導き、学習意欲の向上を目指す添削、コメントとはどのようなものか、実例をもとにポイントをまとめています。学生が提出するあらゆるレポート等の提出物に対し、コメントをすることを通じた指導をする機会のあるすべてのひとに向けているため、専任教員には不要な内容も含まれています。教育機関ごとに内容を見て、必要な部分があれば切り取ったり、内容をアレンジしたり、不足している部分を追加して自由に活用してください。

想定する対象者	全教員、添削指導者
提供するデータ	手引きPDF版、手引きWord版（アレンジ用）

2) 実習の学習効果を高める記録用紙・ワークシート使用ガイド

動画「5 実習の学習効果を高める記録用紙（ワークシート）の活用について」と連動しています。

ガイドとともに、3種類の記録用紙・ワークシートのひな型、アレンジした母性看護学版のひな型、記入例（成人・老年看護学）の資料が添付されています。

活用方法の詳細は、ガイド本体をご参照ください。

想定する対象者	全教員
提供するデータ	ガイドPDF版、ガイドWord版（アレンジ用）

Ⅱ. 教員研修ツールの活用例

教育機関ごとに自由に活用することを基本に、ここではテーマによっていくつかの活用例を提示します。

1) 通信制教育の特徴と2年課程（通信制）の歴史と課題について確認し 自組織の目標を確認する研修

対象者	全教員・職員、特に2年課程（通信制）の教員に初めて携わる教員
使用するツール	動画 1、2
方法	1) 集合して視聴、もしくは事前に個別で視聴する 2) 1)を踏まえ、自組織での教育の特徴や課題、目指すべき方向性などについて、参加者間で話し合う
必要な時間	2-3時間（事前に個別に動画をする場合、1-2時間程度）
備考	年度初めや次年度計画立案前など、教育機関の方向性を検討する際に実施することで、教職員が組織の方向性を共有することができる。職員も参加することで、複雑な看護基礎教育制度の概要を捉えてもらうことができる。

2) 准看護師としての就業経験をもつ学生への学習支援について検討する研修

対象者	全教員
使用するツール	動画 3、4
方法	1) 集合して視聴、もしくは事前に個別で視聴する 2) 1)を踏まえ、学生たちの特徴や強み、これまで経験した学習支援が困難だった学生の事例、成功した事例などについて、参加者間で話し合う
必要な時間	2-3時間（事前に個別に動画をする場合、1-2時間程度）
備考	学生たちの特徴について改めて考えることで、彼らの強みや特徴を踏まえた支援方法を考えることができる。実践経験が豊富な教員が参加することで、経験豊富な教員実践例を、経験の少ない教員に伝えることができる。

3) 学習効果を高める臨地実習の方法を検討する研修

対象者	全教員、臨地実習に関わる教員
使用するツール	動画 5、資料 2
方法	1) 集合して資料を読み動画を視聴、もしくは個別に資料を読み動画を視聴 2) 1)を踏まえ、学生が既習の知識と技術を統合して看護師となるために必要な臨地実施の方法を、紙上事例演習・病院見学実習・面接授業のつながりを意識して検討する 3) 本ツールの記録用紙を採用する場合、その内容の修正を科目ごとに検討する
必要な時間	3-6時間（事前に個別に動画をする場合、2-4時間程度）
備考	現在実施している臨地実習の方法や、本ツールの記録用紙を採用するかなどによって、所要時間は異なる。本ツールの記録用紙を採用し、臨地実習の方法に大きな変更が必要な場合は、複数回に分けて実施する必要がある。

4) 学生の学習意欲を高める記録物の取り扱いとコメントについて検討する研修

対象者	全教員、特に2年課程（通信制）の教育に初めて携わる教員、添削指導員
使用するツール	資料1
方法	1) 個別に資料を読む 2) 教育に初めて携わる教員や、添削指導員を対象とするときは、資料を説明する機会を設けることも検討できる
必要な時間	1時間
備考	特に教育に初めて携わる教員や添削指導員については、2年課程（通信制）における提出物へのコメントの重要性や、記録物の取り扱いなどについて確認するため、説明する機会を設けることが望ましい。特に添削指導員については、2年課程（通信制）の教育と学生の特徴を知り、専任教員とのコミュニケーションを良好にするためにも実施が推奨される。

5) 病院見学実習施設へのオリエンテーション

対象者	病院見学実習を行う病院等の教育担当者、実習指導者
使用するツール	動画6
方法	病院見学実習の説明の際に、動画データを持参し視聴を依頼する、あるいは見学実習説明資料とともに、動画データを送付する。
必要な時間	動画の資料は10分
備考	見学先病院に持参し直接説明を行う際は、病院等の教育担当者らとともに一度視聴することで、不明点などについて確認することができる。動画データは、実習先の特徴に応じて複数枚DVDに保存し持参する、クラウドにデータを保存し、リンク先のURLをQRコードなどを利用して通知するなど利便性の高い方法を検討するとよい。動画の視聴が困難な病院等には、スライドのPDF版を提供する方法もある。

6) 教育機関の垣根を超えた効果的な臨地実習のための合同研修

対象者	複数の2年課程（通信制）に所属する教員
使用するツール	（動画5、資料2）
方法	自身の教育機関内で行う臨地実習の方法や特徴、使用する資料や事例について、複数の教育機関で共有する。
必要な時間	1.5-3時間程度
備考	事前に資料等を共有しておき、オンライン会議システム（Zoomなど）等を利用して実施することも可能。教科目ごとに分かれて実施し、それぞれの教科目に特化した事例や、実習上の課題工夫について検討することもできる。

令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 厚生労働科学特別研究事業
「看護師養成所2年課程（通信制）の入学要件見直しにかかる調査研究（23CA2003）」

研究代表者 奥裕美

研究分担者 小山田恭子 三浦友理子 相澤恵子

研究協力 全国通信制看護学校協議会